

学校と家庭と地域をつなぐ

稚内中央小学校 学校だより

中央小だより

中央小は3 あ運動
あいさつ・あんぜん・ありがとう

発行：中央小学校
発行日：H30.10.31



「やってみて、〇〇したい」を育む

校長 船木真澄



子ども達が外遊びをたっぷり楽しめた、温かで穏やかな天気が続いた一〇月でした。学校の裏山は例年にならない美しい紅葉に彩られ、目を楽しませてくれます。

さて、過日の学芸会には、保護者・地域・ご来賓の皆様方にご来校いただき、子ども達にたくさんのお褒めをいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。

学芸会は、日常の学習を中心とした教育活動の総合的・発展的な発表の場であるとともに、集団で一つのことに取り組む楽しさや一体感を育み、表現することの楽しさを感じ取る行事です。二日は、各学年がこれまでの練習の成果を十二分に発揮し、一生懸命取り組んでいる姿をたくさん見ることができました。発表内容には、その学年や一人ひとりの子どもの良さが現れていたと思えました。初めて挑戦することや苦手なことにも努力をし、目標をやり遂げた子どもの力はすごいものです。観客席から大きな拍手をいただき、達成感や満足感を味わうとともに、自分への自信を深めたことと思えます。

「子どもの力はすごい」と思ったエピソード。今回、六年生合唱の伴奏は児童が行いました。一名は全くピアノを習った経験がなかったそうです。是非、弾い

てみたいと立候補し、オーディションを通じて伴奏者に決定。練習に練習を重ねて見事に大役を果たしました。実は総練習では演奏が途切れ、六年生の子ども達がアカペラで歌い続けました。先生方でさえ緊張する本番。なおさら緊張した中で伴奏したに違いありません。本番で見事に演奏しきったのは沢山練習を積んできたから。そして、万が一、伴奏が止まってもみんなが歌ってくれるという仲間への信頼が安心感となっていたからに違いありません。

私事ですが、その昔、音楽の先生の離任式で校歌を伴奏することに。当日、前奏を調子よく演奏したものの、その後は全く指が動かないのです。司会の教頭先生が、「もう一度、やりましょう。(・・・)では、伴奏無しで歌いましょう!」と。頭が真っ白になった記憶が今も鮮明に残っています。二ヶ月以上の特訓を経て練習では弾けたはずなのに、本番の緊張感では想像以上でした。ましてや学芸会で体育館いっぱいの方々の前で伴奏、本当によく頑張りました。

そして、もう一人の伴奏者はピアノを習っているお子さん。学芸会を締めくくるにふさわしい感動的な六年生の

合唱を伴奏で支えてくれました。全校合唱「ぼくらが未来へつなぐ場所」のピアノ伴奏も担当してくれました。彼女は曲の伴奏をしてみたいと自ら練習し、ピアノ教室の先生にも指導を仰ぎ完成度の高い伴奏を追求して練習に励んだようです。全校集会での初伴奏の際には既に暗譜していた程でした。

この二人が粘り強く努力を続けることができた原動力は、「やってみて」という自発的にわき起こった意欲ややる気だったと思います。CMにもありましたが、やる気スイッチが入った時に人は自ら動き出します。学芸会の取り組みの中で、子どもたちがやる気スイッチを押したり、興味や関心を高める教師の働きかけによりやる気スイッチが入ったりと、様々なエピソードが一人ひとりにあったに違いありません。皆と一緒によいものにしたいたいと思いや、仲間同士の相互激励、ご家庭での励まし等、様々な働きかけも「意欲・やる気」を高めたに違いありません。

二学期後半。これからは学習にじっくりと取り組み期間です。一人ひとりに各教科の基礎基本の力をしっかり付けていくことが大事になります。そのためには、子どもが自ら学ぶ、「やってみて、〇〇したい、わかるようになりたい」が生まれる授業づくりをすすめていくことが大事になることを、教職員で改めて確かめ合ったところです。

カブス軍団 来年に期待!

9月29日(土) 稚子連子ども野球大会が大沼球場で行われました。

今年も、保護者の方々から力を借りて、夏休み中も2学期の土・日曜日にも例年以上に練習をしました。

また、今年も多くの方からご寄付を頂き、ユニフォームを新調することができました。ありがとうございました。来年もみんなで一つになる楽しさを感じながらがんばりましょう。



十一月の予定

- 一(木) ふれあい期間④
- 四(日) 小中音楽祭(六年生参加)
- 五(月) ふれあい期間⑤
- 六(火) ふれあい期間⑥
- 七(水) 全校朝会
全校四時間授業
- 八(木) A L T (三・六年)
※小中合同授業研のため
- 九(金) ふれあいサークル
稚内市教育講演会
- 一(日) P T A バザー
- 一四(水) 活動委員会
- 一五(木) 五年生以外四時間授業
※小中合同授業研のため
- 一六(金) 全校四時間授業
※稚教研大会公開研のため
- 一七(土) 二年二組(学級レク)
就学児健診
- 一九(月) 就学児知能検査・入学説明会
- 二〇(火) A L T (五・六年)
- 二二(木) 貧困対策シンポジウム
全校特別短縮五時間授業
※稚教研大会全体会のため
- 二八(水) 正副会長会議

保護者・地域の皆様、子ども達への応援ありがとうございました！

■10月21日(日)第53回学芸会が開催されました。全校スローガン「輝け！！199人の力！！」を胸に、それぞれの学年が、合唱、合奏、踊り、劇などを披露しました。「心を一つに」息のぴったり合った発表が、とても印象的でした！子ども達のがんばりに拍手を贈ります！



全校生

今年度より、全校合唱を演目としました！
「僕らが未来へつなぐ場所」



6年生

迫真の演技！平和を願って難しい劇
に挑戦！「はだしのゲン」



1年生

オープニングを飾りました！合唱
「『あ』のうた」「たいせつなともだち」



3年生

休み時間も返上で練習しました！
パワフルな「よさこいソーラン」



4年生

会場を笑いの渦に！アドリブが沢山！
「若返りの泉」



2年生

全員が楽しみました！みんなが
自信をもって演じた「ちこく姫&給食番長」



5年生

器楽に挑戦！きれいな合奏が体育館を
包み込みました！「未来へ」

■練習に練習を重ね、本番を迎えました。学校便りでは紹介しきれないほど、まだまだすばらしい発表がありました！また来年、子ども達の笑顔に会えますように！そして中央小の子ども達全員が成長できる学芸会でありますように・・・。

- 子ども達の歌声に涙が出そうになりました。こういう場で50周年記念歌を発表してくれると心に残ります。
- とてもすばらしい学芸会でした。短い期間で良く頑張りました。
- 来賓席の机上『もみじや栗』などのお心使いがとても温かかったです。
- 観客席の移動方式、名案だと思います。ご自分のお子さんの晴れ姿を間近で観られるのは嬉しいと思います。様々考えて運営されている学芸会、楽しかったです。
- 校長先生のお話にあったように、『今だから出来ること・大事にしたいこと』があるはずです。少人数になったことを残念にだけ思わず、大事な指導を望みます。
- 兄弟で登校時間が違うので大変でした。登校時間(後半)に教室に行っても担任がおらず、どうしていいかわかりませんでした。

アンケートより

一緒に活動したり、一緒に給食を食べたり、楽しい時間を過ごしました。



10月25日(木)宝来地区老人クラブの方々と二年生のふれあい交流会が行われました。

一緒にニュースポーツや昔の遊びを体験しました。

給食は、二年生教室と一緒に食べました。

短い時間でしたが、ふれあいを通して、世代間交流をすることが出来ました。

役員の皆さん、そして参加された老人クラブの皆さんありがとうございました。

宝来地区老人クラブと交流